

(一社)日本家政学会 2024 年度第 1 回臨時理事会議事録

開催日時 : 2024 年 5 月 24 日(金) 15:30~17:00

開催場所 : 椋山女学園大学 星が丘キャンパス 大学会館 2 階 学生控室

役員氏名 会長: 赤塚 朋子

副会長: 薩本 弥生、高村 仁知、藤井 恵子

理事: 東 珠実、川端 博子、倉持 清美、重川 純子、杉山 久仁子、鈴木 明子、高橋 哲也、
平林 由果、増渕 哲子、安川 あけみ、吉川 はる奈

監事: 綾部 園子、今川 真治

理事 18 名のうち本日の出席理事 15 名で、本理事会は成立することを確認。

本理事会議事録署名人は、赤塚会長、薩本筆頭副会長、綾部監事、および今川監事。

2024 年度第 1 回(通算 495 回)理事会議事録(案)、議事抄録(案)の承認

【議案】

第 1 号議案 総務委員会

(1)入会申込者一覧 (薩本副会長)

薩本副会長より、正会員 15 名、学生会員 1 名、計 16 名の入会申込者が示され、満場一致で承認した。

第 2 号議案 年次大会運営委員会

(1)2024 年度代議員総会・第 76 回大会(中部支部)の進行の確認 (薩本副会長)

1)2024 年度代議員出席者の座席の確認と議案議決の理事役割分担の確認(吉川・増渕理事)

吉川総務担当理事より代議員総会の際の出席者の確認と議案議決の理事の役割分担に関して確認があり、満場一致で承認した。

2)代議員総会次第、タイムスケジュール (薩本副会長)

赤塚会長、薩本副会長より、2024 年度代議員総会次第、タイムスケジュールが提案された。資料 7 のタイムスケジュールで、議長決定後、議長に議事進行してもらう直前に出席代議員数を司会が確認する必要があることの指摘があった。引継ぎ事項としてタイムスケジュールに追記することを確認し、満場一致で承認した。

3)会長・副会長・監事の役割分担、ステージ座席の確認(赤塚会長・薩本副会長)

赤塚会長、薩本副会長より、役割分担、ステージ座席の確認があり、満場一致で承認した。

(2)代議員懇談会進行の確認(赤塚会長)

赤塚会長より代議員懇談会の次第、座席表が示され、満場一致で承認した。

(3)学会賞授与式の進行の確認(高村副会長)

高村副会長より学会賞授与式の進行の確認があり、満場一致で承認した。

(4)第 76 回大会運営・進行の確認(東理事・高村副会長)

高村副会長、東理事(実行委員長)より大会の準備状況、5 月 24 日時点で参加者 554 名、口頭発表 98 題、ポスター発表 135 題で、協賛企業、広告、ランチョンセミナー等企业からもたくさん集まり、順調であることが報告され、満場一致で承認した。

(5)新旧理事引継ぎ会、全体部会長会の進行の確認(薩本副会長)

薩本副会長より新旧理事引継ぎ会、全体部会長会の次第、座席表が示され、満場一致で承認した。

(6)懇親会進行の確認(赤塚会長)

赤塚会長、東実行委員長より懇親会の準備状況が報告された。開催校の学長と講演者 2 名の来賓挨拶を予定しており、乾杯の音頭を牛腸元会長に依頼していること、招待者+会長、副会長、実行委員長等 32 名が円卓(8 名×4 卓)に着席し、それ以外は立食で 144 名の参加があることが報告され、満場一致で承認した。

(7)ポスター賞表彰式と閉会式について(赤塚会長・高橋理事)

赤塚会長より今年度はポスター賞表彰式を最終日の午後には実施することが確認された。高橋理事より、開票作業の担当者とスケジュールに関して確認があった。表彰者の人数に関して確認があり、概ね、前例に従って 1~2 名を原則とするが、開票の結果を見ながら決定したいと提案され、満場一致で承認した。

第 3 号議案 編集委員会 (倉持理事)

倉持理事から 2024・2025 年度編集委員候補者リストが示され、満場一致で承認した。

第4号議案

(1) 2024 年度夏季セミナー(高村副会長)

第7回家政学夏季セミナーを、「防災と生活」をテーマに本部と若手の会の共催で開催することが提案され、満場一致で承認した。

(2) 2025 年度夏季セミナー

第8回家政学夏季セミナーは支部からの提案を求めているが、現在までのところ未定である。支部と本部が交互に主導して実施することをルールにしてからまだ、間もないため、次回は可能な限り支部からの提案を受けたこと、新支部長も参加する新旧役員会で、支部と部会の共催、支部大会と夏季セミナーを兼ねるなどにより負担を最小限にすること等を提案することとし、満場一致で承認した。

第5号議案

その他

(1) 高等学校 第34回全国産業教育フェア栃木大会への学会協賛への提案(赤塚会長)

赤塚会長より第34回全国産業教育フェア栃木大会への学会協賛への提案があり、日本家政学会のPRやジュニア会員募集等をする機会となるため意義があるとされ、満場一致で承認した。

【報告】

報告事項1 世界家政学の日の動画の配信 編集中(赤塚会長)

赤塚会長より、世界家政学の日の動画の配信を実施予定であることが報告された。

報告事項2 学会誌の電子ジャーナル化に関して(倉持理事)

学会誌の電子ジャーナル化に関して、検討方針が報告された。財政赤字を減らすためには、学会誌の電子ジャーナル化を進めることが必要であるが、会員の権利として冊子体の配付が規程にあり、今年度は学会員に冊子体版か電子版のいずれかを選択してもらうことはできないため、次年度の規程の改正も念頭に置きながら進めていくことが報告された。電子ジャーナル化の方法として、学会HPに鍵をかけたサイトを設けてそこに電子ジャーナルを掲載し、希望者は電子版をみることができるようHPを整備することが検討されている。会員数が減少傾向の中で学会財政の健全化のために電子ジャーナル化を進めていくことが求められること等をメルマガ等で発信し、電子ジャーナルの選択希望者を募っていく。今後、細部を詰める必要があるが、基本的には電子ジャーナル化を進めていくことが報告された。

報告事項3

その他(鈴木理事)

会員の専門分野の枠組み・表記に関して、「家庭経営」が「生活経営」より上位となっている点の見直しの必要が指摘され、次期の理事会で検討することを確認した。

以上